

編集顧問

生田 房弘	石塚 典生
糸山 泰人	岩田 誠
内山真一郎	臺 弘
大友 英一	梶 龍兒
金澤 一郎	高坂 新一
酒田 英夫	作田 学
島津 浩	杉田 秀夫
高倉 公朋	塚田 裕三
辻 省次	寺本 明
中里 洋一	中込 忠好
中野 今治	彦坂 興秀
平山 恵造	藤澤浩四郎
真柳 佳昭	水澤 英洋
水野 美邦	柳澤 信夫

編集委員

河村 満	(編集主幹)
神田 隆	桑原 聡
酒井 邦嘉	泰羅 雅登
三村 将	森 啓

編集同人

入来 篤史	岩田 淳
宇川 義一	内原 俊記
大隅 典子	岡部 繁男
木村 和美	久保 義弘
栗栖 薫	小林 靖
斉藤 延人	砂田 芳秀
高橋 良輔	瀧山 嘉久
武田 伸一	千葉 厚郎
平田 幸一	寶金 清博
星 英司	星野 幹雄
本田 学	松野 彰

(五十音順)

あとがき

日本全体に高揚感が漂っている気がする。色々考えたが長嶋茂雄氏と松井秀喜氏の国民栄誉賞が理由かも知れない。長嶋茂雄氏が松井選手の素振りの音を聞き分け、時折「ナイス」と指導した逸話をテレビで聞いた。擬態語や感性で表現と言われるスターだが、この逸話から判断する限り、彼の指導は、とても具体的である。ホームランに必要な回転速度があることを教えているからである。いつも素直に恩師に従う松井選手も素晴らしい。栄誉賞副賞の黄金バットを受け取る際に、長嶋氏の不自由な右手となった松井氏の所作も美しい。ベースボールファンを越え日本人として、人間として嬉しさを感じた。その長嶋氏が脳卒中に倒れたのが2004年だ。心原性脳塞栓症と発表されて以来、久々に聞く肉声と、不自由な一歩に身体が熱くなった。全盛期時代より、もっと好きになっている自分に気がついた。

今回の大特集「あしたの脳梗塞」は、新薬と rt-PA 静注療法が4.5時間まで延長されたことを契機に発案した企画である。水野敏樹先生と猪原匡史先生のご指導を仰ぎ、次世代で語られる脳梗塞臨床の内容にこだわった。4.5時間が、なぜ6時間ではなかったのか。患者選択と症状分析の壁があり、実臨床のバランスで決定された、絶妙なタイミングであることも知った。もちろん、今後の医療レベルの変化で、6時間はおろか、それ以上に延長される日も遠くないことを実感させる内容になったはずである。なんといっても脳梗塞は身体循環器障害の理解と対処が基本であり、そこにリンパ系を欠く脳組織独特な理解が求められる。そのうえで、発症分子機構、病態、脳画像分析、新診断法と治療の総合的な理解が、頁を繰るだけでも得られているのではない。血管ドレナージ障害から微小血管病変が引き起こされ、白質病変が生まれるという概念も整理されている。アルツハイマー病をアミロイドから理解するように、CADASIL を単なる一遺伝性白質疾患ではなく、脳梗塞を理解するモデルとして捉えた水野論文から脳梗塞自身への興味が深まった。また、山田論文で微小脳梗塞を診断するうえでの拡散強調画像の撮像と解析法のポイントも欠かせない。微小血管障害という実態をイメージした三木論文を読み、加齢性とか慢性虚血性変化として放置されてきた白質病変の脳画像をもう一度見たくなった。内山論文では再発予防で悩んでいる重責を担う現場の医師に確かなエビデンスが紹介されている。あらためて「あしたの脳梗塞」と標榜することにホッと胸をなで下ろした次第である。

(森 啓)

BRAIN and NERVE (第65巻 第7号)

2013年7月1日(毎月1回1日発行)

定価 3,990 円〔本体 3,800 円＋税 5 % (送料実費)〕

2013 年 年間購読料 (税込, 送料弊社負担)

冊子版 35,670 円, 冊子＋電子版(個人) 40,670 円／(共有) 46,100 円,

電子版(個人) 35,670 円／(共有) 41,100 円

販売部直通電話 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693 番

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5701 (小藤・風間・山崎)

FAX (03) 3815-7802

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn>

印刷所 (株)アイワード (011) 241-9341

広告申込 (株)ハイブリッジエージェンシー (03) 3814-0089

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2013, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- JCOPY** (財)出版者著作権管理機構委託出版物)
本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は, その都度事前に(財)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。